

香教組第95回定期大会 開催!

今だからこそ 香教組組合員であることに誇りを!



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組
合費に含む

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

支部長・書記長
会議
3月20日(木)
19:00~
人事異動について

2月23日、香教組は高松テルサで第95回定期大会を開催しました。2018年の情勢やとりくみの成果と2019年のとりくみの方針について活発に話し合われました。また、2019年の新役員も選出しました。

教師の仕事にゆとりと笑顔を

小学校4年生の担任をしている。子どもたちと休み時間にドッジボールをした。楽しかった。笑顔になる子どもたち、昔を思い出した。今の子どもたちは、細かな決まりにとらわれすぎているように思う。制服やベストを着ていく順番など。新学習指導要領は授業の教え方まで指南する。スタンダードがよいとされて教師も子どもたちも狭い枠の中に押し込められる。

「教職員の働き方改革」がいろいろあるところを取り上げられた年であったが、本当に改革は進んでいるのか。常に仕事に追われる毎日の中で余裕がなくなり、組合でさえも途中でやめてしまう教員に心が痛む。

私たち香川県教職員組合は、戦争をする国を目指そうとする国の動きに反対し、「教え子を再び戦場に送らない」のスローガンの下、声を上げ続けていきたいと思う。みなさんの教育に関する想い、情勢に関すること大いに語っていきましょう。



大久保中央執行委員長



女性部 和爾さん

更年期、育児など母親(女性)だけでなく、職場の問題もさつくばらんに話し合う「ママ・パパの会」を開くことができた。参加者の悩みや疑問を話し合うことができた。女性部の会の中でも権利を訴えていく中で知ることもたくさんあった。これからも会を続けていきたい。



濱田副委員長

は、議論が少なくなっている。「みかづき」という小説の内容を読むとスタンダードによつて子どもの心をコントロールしているという戦時中と現代は同じではないかと思う。

浜田香川県知事からお祝いのメッセージ

香川県教職員組合の定期大会が盛大に開催されますことを、お慶びいたします。皆様方には、強い団結の下、ゆとりある楽しい学校づくりと組合委員の生活の向上に熱心に取り組まれており、深く敬意を表します。近年、加速度的に進む人口減少や少子高齢化、核家族化の進行、価値観の多様化など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しておりますが、いつの時代も、次代を担う、子ども・若者の育成は、私たち大人の責務です。皆様方には、今後とも、子どもたちの夢と笑顔を大切にする教育の実現のために、一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。香川県教職員組合のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

香川県知事 浜田 恵造



三豊支部 黒河さん

若い教職員を誘って障害児教育自主学習会に参加した。興味のある知りたい学習内容だったこともあって、その後組合に加入してくれた。組合に入ってよかったと思える活動をしていきたい。

今までは、自分の勤務する職場では、インフルエンザでの休みは年休を取っていた。組合と西部教育事務所との交渉でインフルエンザは特休扱いであると言われ、認ができたので、職場の事務員さんに聞いてみると、校長が市教委に問い合わせられて職員会で周知し権利をみんな利用できるようになった。

小黑板

2019年1月25日
「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築」

ののための学校の指針案を了承した。中教審が答申した▼公立校の教員の残業時間を原則「月45時間以内」とする文科省の指針案を了承した▼ただ、「深い学び」を目指す新学習指導要領への対応や部活動の運営など学校現場が抱える課題は多く、実現性は不透明。同省は細やかな対策を積み重ねて改革を進める考えだが、保護者をはじめとする地域社会の支援も必要になる▼働き方改革関連法には罰則はあるが、答申案は罰則の導入には「慎重であるべきだ」とした。労働時間を年単位で調整する変形労働時間制の導入も提言。文科省は

中教審答申

導入する自治体が条例化できるよう教職員給与特別措置法(給特法)の19年度改正を目指す▼全国紙でも報道しなかった新聞も各社あったが概要はこの通り▼報道が少なかった理由は文科省が自治体の取り組み状況を講評するなどして遵守を促すが、違反した場合の罰則規定もなく、実効性に課題が残ること、「給特法」の抜本的な見直しは見送ったことなど特筆する点が弱かった点にあるだろう▼問題点としては、「変形労働時間制」の導入が盛り込まれた▼しかし、学校現場で今まで勤務時間管理の対象とならないとされていた「自発的勤務」も在校等時間として勤務の対象となるなど、働き方改革を見据えた具体的視点も盛り込まれた。交渉に生かしたい。

冬のひまわり学校について。2月16日・17日と兵庫県のかなべスキー場で行った。へいわこどもクリニック、大学生ボランティア、障害児学校支部のスタッフで共同して、障害のある子どもたちとスキーや雪遊びを楽しむとなくみ。雪不足で参加者は例年より少なかったが、毎年参加する子どもたちの成長、家族のつながり、ボランティアの生の変かなど再認 識することもあり、教員も元気になるとりくみができる。



障害児学校支部 林さん



丸亀支部 近藤さん
勤務外時間

活動を2人体制で指導する事になった。丸亀市が補助で指導する人を雇ってくれたがそれでも部活動の時間は超過勤務になる。今後どのような対応を取ればいいのか考える。

職員会後に学年団会や現教がある。超勤になるが、割り振りがある。管理職に訴えたが、冬休みに2時間割り振りがあつたのみ。忙しい現場であるが、職員同士が気持ちよく働いていくためにも割り振り申請用紙はあつてもよいのではないかと思う。勤務評定の基準がはつきりしない。校長、県へ自分の評定の開示を求めている。



坂出支部 山地さん

香教組署名をとりくむ時の参考例に。毎年香教組署名は取り組む時期を決めている。取り組む前にお知らせプリントを配付しとりくむことで全職員が早くカンパもしてくれる。夏休み短縮、簡易給食について毎年アンケートを取っている。7割以上が反対。学力向上につながらないという結果がはつきりと出た。簡易給食も8割以上反対。下校時刻がますます暑い時間帯になることや膨大なゴミの量も問題になっている。栄養面でも心配だ。炭水化物の取り過ぎで。ある。香川県は糖尿病率が高いので、



高松支部 松山さん
伝えながら交渉していきたい。

講師として「空白の1日問題」について発言したい。育休代替で勤務しているが任期は3月30日まで。3月31日の任期がないために3月の保険料は支払われない。他の講師がインフルエンザで病院を受診したが保険証が使えず全額自費負担になった。そもそも、講師の給料は正規より低い。せめて、病気がけがで病院を受診するときの保険料を県や私が負担してほしい。



丸亀支部 尾崎さん

青年部担当を引き継いだ。青年からの要望は「こんなことしたい。」「〇〇について学びたい。」といろいろなものがあがってくる。青年の要求をたくさん集めて実現させていきたい。



高松支部 二川さん

を受け、その学校で校長交渉を行った。おかしなことを言える環境、迅速な対応を大切にしたい。



三豊支部 高島さん
理職かめをうけているとい報告

寄宿舎署名を今年3558筆提出することができた。全国から県教委へ直接送られてくる署名もあり、署名をくださった方の力を感じた。2019年度も寄宿舎指導員は2名の採用があつた。今後も退職者が続くので、運動を続けていきたい。小豆島に支援学校ができるという報道があつた。遠隔地だからというだけでなく、教育的ニーズが高まった結果だと思ふ。



障害児学校支部 久利さん

市費講師のほとんどが非常勤で、待遇が他府県より悪い。1級扱いである。県費講師では、他県では2級扱いの県もあり、正規職員と変わらない給与が支給される県もある。会計年度任用職員制度というのが2020年度から運用される。非常勤講師に適用される制度なので改善にならないように見守っていくことが必要だ。退職年齢の引き上げに伴い、退職金も改善されるかも知れない。こちらも動向を注視したい。自分の職場の今年1年の現教の内容は「道徳」に特化されることが多かった。押しつけてない、自分の



高松支部 井上さん

たちの学びたいことが学べる現教であってほしい。

現場での話をする。仕事量が多い。小さな学校で楽だと想われるが仕事量は変わらない。1人に係る分掌の仕事は逆が多い。声を上げていかないと変わらない。働き方改革と言われているが、勉強して情報発信して声を掛けていきたい。



仲多度支部 佐野さん



2019年度新役員

- 中執行委員長 大久保和彦 丸亀・城北小
- 副委員長 平野都子 高松・木本部小
- 副委員長 濱田美 高松・大野小
- 書記長 田和美 高松・二宮小
- 書記長 石川謙二 豊・高瀬中
- 会計長 二川綾介 高松・国分寺部小
- 執行委員 岡本あり 東部養護 附属特別支援学校
- 鈴木弘恵 四宮博樹 東がわ・引田小

感謝！メッセージ

- 香川県知事 浜田恵三 様
- 国民民主党代表 玉木雄一郎 衆議院議員
- 社民党 高田良徳 県公議員

ご来賓のみなさま

- 全教・全教共済 平尾様
- 香川県労連 岩部様
- 私教連 安富様
- 香退教 杉村様
- 立憲民主党 富野様
- 小川衆議院議員秘書 原田様
- 日本共産党 田辺様